

倫理委員会審議内容

令和6年12月27日開催

No.8		申請者：大学専攻科 学生 仲村 尚紗
課 題		壮年期におけるアルコール依存症者の支援策の一考察 ～断酒会への参加の阻害要因を知り参加促進の方法を探る～
研究の概要		アルコール依存症の治療には治療の3本柱として①外来通院、②自助グループ、③抗酒薬の3つが基本的な治療法として挙げられている。その中でも自助グループへの参加が有効的であり自助グループへの参加によって断酒の継続につながり回復した者もいることが報告されている。このようにアルコール依存症治療の中でも特に断酒会等への参加が断酒の継続率の向上につながると考えられる。しかし、その断酒継続へ有効とされる断酒会は会員数の減少や高齢化が問題視されている。断酒会への参加の中断理由は対象者ごとに異なり、その後の治療法も個別性が高いと考えられる。そこで、本研究では、インタビューガイドを用いて、飲酒に関するライフヒストリーや断酒会への参加の中断理由を明らかにすることを目的とする。
判 定	承認	
利益相反審査判定		承認